

登園届

園児名 _____

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

保育園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、一人一人の子どもが一日快適に生活できることが大切です。

保育園児がよくかかる下記の感染症については、登園のめやすを参考に、かかりつけ医師の診断に従い、登園届の提出をお願いします。なお、保育園での集団生活に適應できる状態に回復してから登園するよう、ご配慮ください。

該当疾患には☑をお願いします。

✓	感染症名	感染しやすい期間	登園の目安
	溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること ただし治療の継続は必要
	マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まり全身状態が良いこと
	手足口病	手足や口腔内に水疱、潰瘍が発症した数日間	発熱がなく(解熱後1日以上経過)口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく普段の食事(給食)が食べられること
	伝染性紅斑 (りんご病)	発疹出現前の1週間	全身状態が良いこと
	感染性胃腸炎	症状のある間と症状消失後1週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要)	24時間以内に嘔吐、下痢がなく普段の食事(給食)が食べられること及び全身状態が良いこと
	ヘルパンギーナ	急性期の数日間(便の中に1ヶ月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要)	発熱がなく(解熱後1日以上経過)口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく普段の食事(給食)が食べられること
	RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
	带状疱疹	水疱を形成している間	すべての発疹が痂皮化(かさぶた)するまで
	突発性発疹	発熱中	解熱後1日以上経過し機嫌が良く全身状態が良いこと
	伝染性膿痂疹 (とびひ)	皮疹からの浸出液がある間	皮疹が乾燥しているか、湿潤部位が被覆できる程度のものであること
	ヒトメタニューモウイルス感染症	症状が出始めてから1～2週間	発熱や激しい咳が治まり全身状態が良いこと
	その他の感染症 ()		

年 _____ 月 _____ 日 医療機関名「 _____ 」において、
病状が回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので登園いたします。

保護者名 _____